WALDRICHSIEGEN

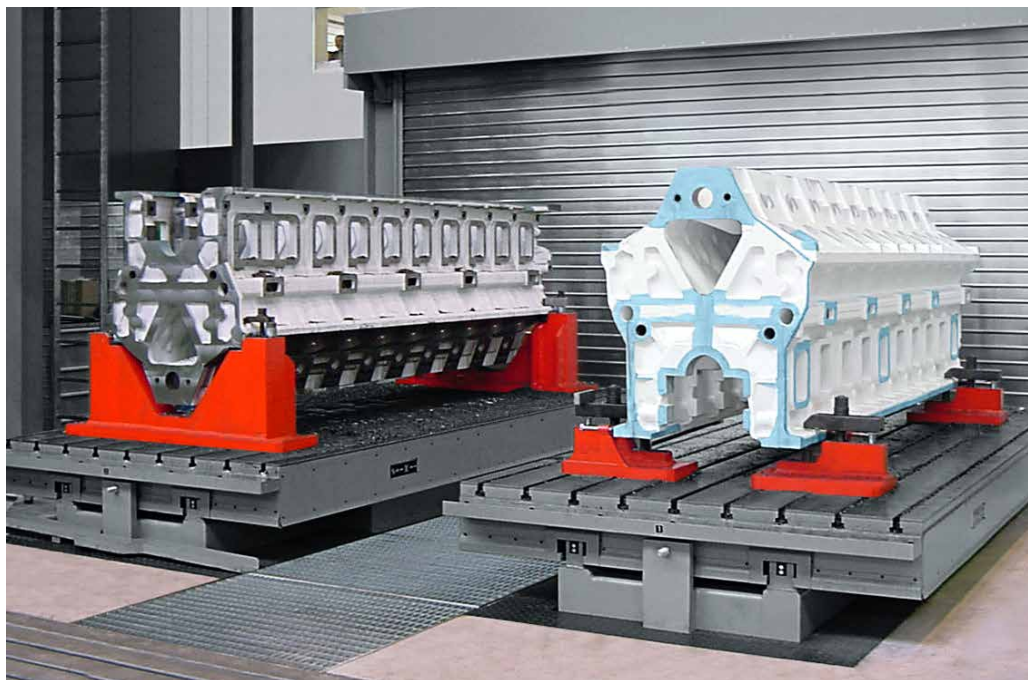
JOURNAL

顧客、ビジネスパートナー、従業員向けニュースレター | 英語版 | 2018年夏

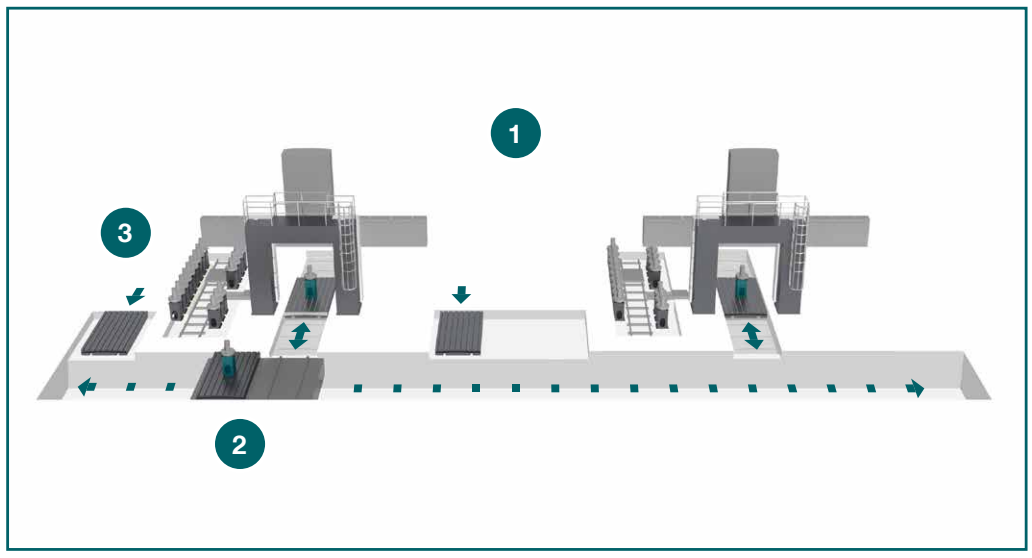
トピック: 立旋盤ーローカルビジネスより受注 ▸ ProfiMill 1（ワン）はProfiMill compactに名称を変更致しました ▸ 新規上海ビジネスセンターにてProfiMills の組立を開始 ▸ 業界紙「Produktion」レポート：ProfiMillは世界最大の工作機械 ▸ 南ドイツでの販売拠点の新設

ウェイチャイ・パワー（濰柴動力股份有限公司）向け連動門型ミーリングマシン

全自動パレットシステム用モーターによるスピード加工



パレットシステムはウェイチャイパワー向けの２台のProfiMillに連動し、セットアップ時のダウンタイムを削減致します。



完全自動のパレットシステム:

1. ２台のProfiMillは、それぞれ約25mの距離に据え付けられます。
2. パレット搬送車は特別に開発されたFMS（Flexible Manufacturing System）で制御され、２台のマシンの間を横断します。
3. １つのワークピースは、マシンが他のワークピースを加工している間に準備することが可能で、従来のマシンコンセプトと比較して連続生産性を大幅に加速します。

数多くのワークピースを効率的に生産するために現代の工作機械は生産システムに連動しています。柔軟な加工システムにより、ワークピースは複雑な加工工程をボタン一つで処理することが可能となり、必要とされるオペレーターを常に最小限にとどめる事が可能であることから、時間及び経費の削減が可能です。門型ミーリングマシンにパレット移送システムを搭載することで、これらの高い生産性を得る事が可能となり、エンジンを加工する場合などにおいては目覚ましい効率性を発揮致します。現在、アジアではこのようなハイエンドシステムの需要が上昇しています。WaldrichSiegenは年内に在中国、ウェイチャイパワー向けに共有パレットシステム仕様の門型ミーリングマシンを2台納品する予定です。

ウェイチャイパワーは、香港メインボード上場企業です。これは、電力システム、大型車、自動車エレクトロニクス及び部品の完全なバリューチェーンをカバーする中国で唯一の企業です。小型、中型サイズで、中速度の高荷重ディーゼルエンジンのプレシリーズにおける膨大な範囲のアプリケーションは、最大限の効率化にフォーカスすることで拡大しています。WaldrichSiegenの2台のProfiMilは高速かつ正確なエンジンブロックの加工において主役となるでしょう。

中国における、小型から中型の重工用ディーゼルエンジンの大手メーカーの1つとして、ウェイチャイパワーは多くの製品を製造します。両方のマシンがお互いにリンクするパレットシステムのお陰で、製品が記録的な速さで製造されます。２つのエンジンが加工されている間に、残りの４つのパレットに次に加工されるワークピースがセットされます。パレット管理システムはセットアップエリアからパレットを2台の装置へとスムーズに自動搬送し、またパレットもそこで交換され、2台のProfiMillはスタンバイしているワークピースをシームレスに加工が可能となりセットアップの為に装置を停止していた時間が完全になくなり、機械をフルに活用することが可能です。

エンジンブロックの加工は、難しいアプリケーションです。５軸加工にそれぞれ適したものを、マシンが8種のミーリングユニットから選択し、それぞれをアプリケーションに適用します。ツールチェンジャーは、マシンごとに最大320種のツールを自動に選択することが可能で、WaldrichSiegenは技術的に洗練された機械コンセプト並びに最大のコスト効率の両方を実現しております。

リピートオーダー：
ウェイチャイパワーグループが二台のProfiMillを継続発注

先の契約を高く評価された結果、追加受注を頂きました。２台の門型ミーリングマシンはウェイチャイグループの一つ、ウェイチャイヘビーマシナリー向けに、ブルバッハ工場で製造されます。受注した２台は2019年3月にウェイチャイに納入されディーゼルエンジン生産の一連に携わります 。

ProfiMillの技術データ

- 門幅：　2,750 mm
- スピンドル・ドライブ:　76 kW
- トルク：　5,500 Nm

社説 | Marco Tannert

お客様各位

2017年後半以降、ドイツの工作機械製造業界は、受注が大幅に増加しています。弊社の受注状況は大変好調であることから、世界中の顧客が、WaldrichSiegenの旋盤及びミーリングマシンの先駆的技術とハイエンドなロール加工ソリューションに継続的信頼を頂いていることを確認しております。

高生産性と特にミーリングマシンのパレット交換システムや、工具の交換時間が短いロボットをベースにした工具交換装置などによる自動化のソリューションは、新規の投資と既存の機械の近代化両方に関して、高いニーズがあります。市場のトレンドとして、ミーリング加工と立旋盤加工で要求されるアプリケーションの統合は連続性が求められ、更なる効率性・生産性の向上要求に対するプレッシャーに対し、弊社は革新的技術をもって応えてまいります。

継続的な開発は、販売分野における成功への道となります。南ドイツ、オーストラリア、スイスにおける顧客向け旋盤及びミーリングアプリケーション用にグループ会社のRSGetriebeは、1月から現地対応の社員を配置しました。顧客の近くにいることは、我々にとって重要で、Netphen にあるHorst Jung GmbH & Co. KGのようなローカルネットワークからミーリングの機能を備えた完全な立旋盤ProfiTurn Vの注文はとてもうれしいものです。

今年はシカゴで行われるIMTSとシュツッツガルトのAMBに参加し、新規または既存の顧客向けにより多くの持続可能なビジネスパートナーシップ作りを目指すため、我々は、多くの皆様にお会いし、新たな発展をお目にかけたいと思います。

Marco Tannert
社長

ローカルカンパニーからの立旋盤受注

伝統的委託製造業者向けProfiTurn V 5000

複雑なワークピースに対し柔軟な加工を実現する完璧なソリューション：ProfiTurn V

個人経営のHorst Jung GmbH & Co. KGは、中型から特大サイズの機械及びプラント部品の機械加工に特化した長年の伝統をもつ委託製造企業の老舗です。将来的に中型サイズの分野で複雑なワークピースの加工を可能にするため、高い柔軟性のマシンコンセプトを持っ立旋盤を探しており、２０１７年に開催されたWaldrichSiegenのTurning and Milling Daysで出会いがありました。

2019年3月、WaldrichSiegenは、ProfiTurn V 5000をHorst Jungに納品します。そして、組み立ての後、ターンキーマシンを顧客に引き渡します。最大5mの直径、高さ3.5m、最大重量100トンまでのワークピースを高精度で加工します。異なる旋盤加工アプリケーション向けの２種類の自動ツールクランプアダプター及び水平及び垂直加工用ユニバーサルスピンドルユニットはミーリング及びボーリング加工に更なる柔軟性を提供致します。4.5mの直径を持ち、縦方向に4mの移動する旋回トラバーステーブルは、これまでとは異なるワークピースの加工を可能にします。WaldrichSiegen とHorst Jungとの近い関係は、このプロジェクトを通して特別な関係を築くことが出来、彼ら独自の旋回トラバーステーブルの加工の生産を担っていきます。

Olaf Schütz

技術データ

最大出力:	58 kw
最大軸回転速度:	3,000 min^{-1}
RAM 横断面:	350 × 350 mm

ProfiMill 1（ワン）はProfiMill compactに名称を変更致しました

WaldrichSiegenという名は長期に渡り、XXLサイズのポータルミーリングマシンの代名詞とも言われてきました。2年前になりますがWaldrichSiegenは、名の通ったポータルミーリングマシンのコンパクトモデルとしてProfiMill 1を導入致しました。他の機械とは対照的にこのシリーズは、コラム間のクリアランスが2.7mで、小型から中型ワークピースの加工用に設計されています。

WaldrichSiegen社の社長兼COOであるマルコ・タナート氏は「既に我々は新タイプでの販売実績がありますが、大型ワークピース向け加工機のイメージが強すぎて、小型向けをアピールするにはProfiMill 1の名称ではインパクトが足りないと思い、名称を変更致しました。小型ポータルミーリングマシンはProfiMill compactばれ、大型工作機械向けにハイライトされた全ての洗練された技術である完全静圧駆動ガイドシステムやマスターヘッドインターフェースがこのコンパクトタイプにも受継がれていることを表しています。」と述べています。実証されたWaldrichSiegenの技術は費用対効果が非常に高く、小型ワークピースの加工業者にとって効果的な投資であると考えます。

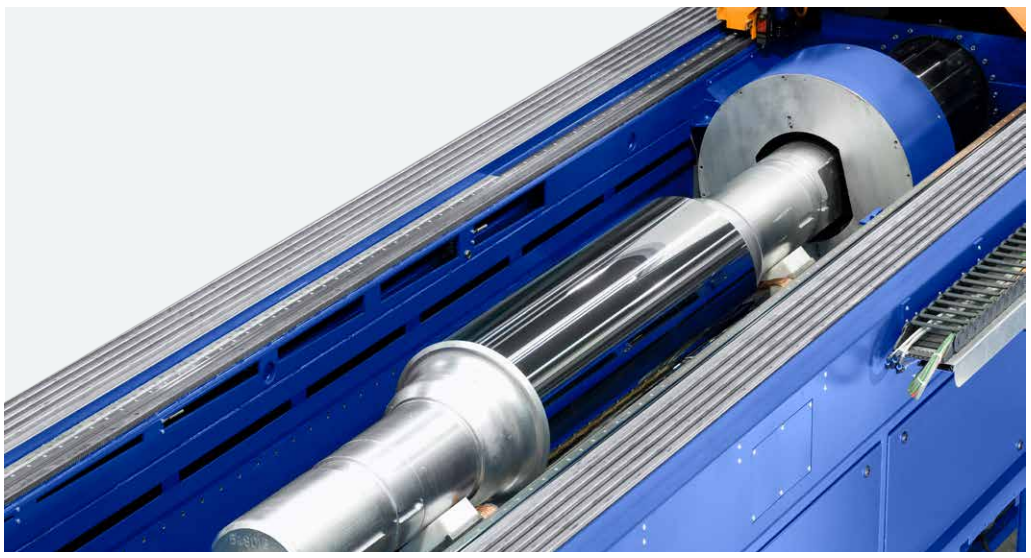
ProfiMill compactはXXLヘリコプターのテストベンチ・ギアボックスを加工

ProfiTex 60への投資：ロール加工のためのサービスセンター

ロール加工のサービスセンターの中で、インディアナ州チェスタートンに本拠を置くANDRITZ Herr-Voss Stamco Inc.は、米国中西部で最も広い能力と最大能力を提供しています。鉄鋼業界を中心とした顧客の施設で使用されているロールは、最先端の工作機械により高い要求が満たされています。2018年2月に発注されたサービスセンターの最新投資は、WaldrichSiegen製　ProfiTex 60 タイプの放電ダル加工機で、2019年2月に生産を開始する予定です。

工作機械の高い性能は、サービスセンターの要です。それ故、ProfiTex 60は合計50個の電極が装備されています。ProfiTex 60は、月間、最大1,100本の加工能力を有し、最長5,500mm、最大バレル直径750mm、最大8トンのロールの加工が可能で、その高いパフォーマンスに加えて、ProfiTex 60はコスト効率及びエコフレンドリーであるため、加工液にグラファイトを添加する必要がなく継続的に再利用できるマシンコンセプトを特徴にしています。

Eckhard Arbes



パフォーマンスと効率性：ProfiTex 60

Hoa Senグループ向けProfiGrind 300

The ProfiGrind 300は最新のPGC10制御システムを装備しています

南アジアのベトナムの鋼鈑の主要な輸出者である、冷間圧延企業cold stripグループは、WaldrichSiegenのProfiGrind 300を発注しました。

このロールグラインダーは、中央ベトナムのBinh Dinh省にある施設に設置され、最大重量3,000kg、最大長3,700mmの中間及びワークロールを研削します。

2点計測システムに加え、当研削盤は過電流と超音波技術を備えた亀裂検出装置だけでなく、データ伝送を容易にするインターフェースを備えています。これらの機能は、PGC10の自動制御システムに完全統合されているため、ＣＶＣ型の中間ロールの研削が可能です。

このプロジェクトで、WaldrichSiegenはテーブルトップマシンのコンセプトを採用しました。トラバース研削サドルでの加工とは対象的に固定された研削砥石に沿って、ロールが移動致します。このコンセプトは特に3,000kg以下の軽量のロールに適しており、1950年代から、WaldrichSiegenにより使用され、特にアルミ産業では100台近くのテーブルトップタイプの研削盤が世界中の顧客に供給されています。これはWaldrichSiegenがベトナムで販売している8台目の機械で、急成長を遂げるベトナム東南アジアの有望なマーケットで市場を展開しています。

Mike Nitschke

上海の新サービスチームがProfiMillの据付をスタート

中国のディーゼルエンジンの大手メーカーHudong Heavy MachineryとWaldrichSiegenは、中国の顧客向けの最高の工作機械サービスを実施するために専門チームを構築しました。Hudongの新しいサービスチーム（WaldrichSiegenの修理メンテナンスセンター）は、上海に拠点を置き、5人のエンジニアが、WaldrichSiegenにて数週間のトレーニングを受講し、現在は、ドイツ人の同僚に交じって、上海で稼働予定の5台の門型ミーリングマシンの据付を行っています。

Hudong Heavy MachineryとWaldrichSiegenの協力は、工作機械のノウハウを統合するユニークな試みです。2015年後半に、Hudong Heavy MachineryはWaldrichSiegen　製大型門型ミーリングマシン5台を上海工場向けに発注しました。このプロジェクトが中国内のWaldrichSiegenの顧客に最先端の技術と熟練したサービスを提供する有望なビジネスプランの始まりで、2017年に新しいサービスセンターを開設する契約が交わされました。ここで、WaldrichSiegenのミーリングマシンと立旋盤の据付、メンテナンス、アフターサービス及びオペレータートレーニングを実施致します。

Hudong Heavy Machineryは、様々な工場で、世界中の異なった、定評のあるサプライヤーが製造した100以上の大型工作機械を使用しています。技術者たちは、こうした工作機械のメンテナンスや修理に数十年の経験を持っています。Hudong Heavy Machineryの5人の最も経験豊かなエンジニアがドイツのWaldrichSiegen本社でトレーニングを受け、現在彼らは、上海の門型ミーリングマシンの据付に参加し、中国の顧客からの要望に応えています。2018年の終わりまでに、さらに多くのエンジニアたちが中国とドイツの両方でトレーニングを終了する予定で、Hudong－Waldrich Siegenの修理メンテナンスセンターは、中国全土の顧客にとって、迅速かつ高品質のサービスを提供することで、工作機械をお使い頂く顧客に対し信頼の提供元となってまいります。

Hudong Heavy Machinery向けの5台のProfiMills は共同サービスセンター設立につながりました

業界誌が選ぶ「金属加工の巨人」に！

ProfiMill は世界最大の工作機械

ProfiMillは7,776 m³と半端ない加工範囲を提供致します。

ドイツ産業界で最も読まれている業界紙の「Produktion」は、世界の切削産業のすべてのメーカーによって作られたXXL工作機械の最大トラバース範囲を比較しました。結果は、WaldrichSiegenのProfiMillが世界最大の工作機械と認定されました。

我々のグループ会社、UnionChemnitzは、横型ボーリングミルPR III 260ではトップ15にランキングし、40,000mmのX軸、最大10,000mmのY軸、最大トラバース3,000mmを備えた、W+Z軸が1,200立方メートルの加工面積はボーリング・ミーリングの専門機としては8位にランクインしています。

結果的に、WaldrichSiegenは、大差で１位になりました。門幅12,000mm、高さ12,000mm、X横断距離54,000mmは、トータルで7,776 m³の加工エリアを提供するという点において、どの工作機械もProfiMillには及ぶことが出来ず、XXL切削機械中ProfiMillは1位を獲得致しました。

記事全文は：
waldrichsiegen.jp/link/profimill-produktion

南ドイツ、オーストリア、スイスでの新たな連絡事務所

より顧客の近くに：Bavariaの新しい営業拠点

RSGetriebeは、HerkulesGroupのギアボックスのスペシャリストです。南ドイツの戦略的に良好な土地を拠点にし、経験豊富なセールスチームがドイツ、オーストリア、スイスのWaldrichSiegenの顧客に向け、1月からコンサルティングサービスを提供致します。

このグループ会社とは長年に渡り緊密な協力関係にあり、過去5年間だけで90以上もの特殊ギアボックスソリューションを、RSGetriebeはWaldrichSiegen に提供しております。個々の機械向けに特別な要求を満たすため、常にカスタム仕様で供給されております。このようにRSGetriebeがWaldrichSiegenの技術に精通していることは、UnionChemnitzにも同様です。RSGetriebeは、UnionChemnitz向け精密ボーリングミル（タイプKG）を自身の製造工場で内製するだけでなく他社向けに独自のドライブソリューションも提供しています。

HerkulesGroupの企業間の緊密な協力のお陰で、RSGetriebeは常にWaldrichSiegen並びにUnionChemnitzが提供する最新の技術革新と技術開発に携わっており、現在は地域の顧客にローカルサービスを提供するために販売の分野で協力しています。

連絡先: info@rsgetriebe.de | +49 83 21 6 07 71-0

戦略的優位地： 南ドイツのRSGetriebe

トレードフェア及びイベント: シカゴ、**IMTS** 2018年9月10 – 15日
シュツッツガルト **AMB,** 2018年9月18 – 22日 | ジーゲン **W&I-Tag** 2018年11月14日号

実習生のための特別公演にて劇場は満員

2016年から地元企業とジーゲンの商工会議所のサポートにより、アポロシアターにて実習生による特別公演が行われています。もちろん、WaldrichSiegenは、この劇場の長年のスポンサーですが、4月19日に、今年の特別な舞台「ZugZwang」の公演が行われました。上記の写真は、Andrej Moser, Jakob Löw, Bastian Walther, Artur Miller, Malte Lorenz, Valentin Sieler, Daniel Weiershausen, Christian Roser, Julian Christopher Schmidt, Christian Peschke, Rana Yigit, Linda Kringe, Markus Seelbach そして Ralf Priesです

Imprint

WaldrichSiegen Journal
Issue: Summer 2018

Publisher:
Waldrich Siegen
Werkzeugmaschinen GmbH
Daimlerstr. 24 · 57299 Burbach
Germany

T: +49 (0) 2736 493-02
F: +49 (0) 2736 493-559

Editors:
Jennifer Lemme,
Christina Debus
(responsible according to the
German press law)

waldrichsiegen.jp